

平成 15 年 1 月 16 日

長瀬産業株式会社

オペ製剤危機管理システム新発売

長瀬産業株式会社ヘルスケア事業部では、病院などの医療機関で使用するアンプルの情報管理を可能とするシステム「オペ製剤危機管理システム」を開発し、販売を開始いたしました。

当システムは、オペ準備室に設置する自動ラベリングシステム、手動ラベラー、登録用端末とオペ室に設置する読み取りシステムから構成されています。このシステムでは、まず、病院内に入荷したアンプルに自動ラベリングシステムでバーコードラベルを貼付します。そのバーコードラベルを読み込み、薬剤の情報を端末に登録します。オペ室でアンプルの薬剤を患者への投与する前に、再度バーコードラベルを読み込み、端末に登録された薬剤情報を、画面で確認することで医療事故の防止が可能になります。

いままで、手術に使われる麻酔薬などのアンプルは、小さいものでは小指大程度の大きさしかないと、バーコードの貼付が難しいとされてきました。そのため、現在多くの医療機関では、アンプルの情報管理は人手に頼らなければならず、アンプル内の薬剤を投与する際には、医師がアンプルに記載された製剤名を数回にわたって目視することで確認しなければなりませんでした。また、アンプルは、10～15本単位で製薬会社から納品され、後に院内ではそれを1本ごとに小分けして管理していますが、アンプル自体にバーコードがついていないために入荷後の院内でのアンプル管理は、看護師が使用前と使用済みの本数を数えるなど手作業に頼っていました。その結果、在庫数が合わない、患者への請求もれが発生するなどの問題が起きていました。

このたび、当社は、このアンプルに自動でバーコードを貼付する機械をセファテクノロジー(株)と共同開発し、院内でのアンプル情報の管理をサポートするシステムを開発しました。このシステムでは、アンプル1本ごとにバーコードラベルを貼付することができ、1本ごとの薬剤情報を病院内のホストコンピューターで管理が可能になります。これにより、アンプル1本単位での在庫管理、投薬情報、投薬履歴をコンピューター内で管理することができ、いままでのような医師や看護師による手作業での確認作業をコンピューターによる投薬確認や在庫情報で容易に管理ができるようになります。

当部では、以前より感染症コントロールシステムや医療事故防止システムなどの医療関連のシステムを全国の病院をはじめとする医療施設向けに納入してきました。特

に、今回の「オペ製剤危機管理システム」を医療事故防止システムと連携させることで、医師のオーダーリングとアンプル情報との照合が可能となり、より精度の高い医療事故の防止に貢献できるようになります。

2003年度に全国10ヶ所、2004年度には全国30ヶ所の納入を目指します。

【システム概要】

システム構成	自動ラベリングシステム、手動ラベラー、登録用端末、読み取りシステム
自動ラベリング処理能力	600本/時間
販売先	全国国公立病院、大学付属病院、各種医療関連施設他

【セファテクノロジー株式会社概要】

所在地	大阪府枚方市新町1丁目12番1号
代表者	谷口 佳範
売上高	約24億円(平成14年度)
事業内容	半導体、液晶業界向け各種装置の設計及び製作 (洗浄・搬送・移載・検査・測定装置など)

【本件に関するお問合せ先】

ヘルスケア事業本部 メディカルケア製品部 斎藤祐二、林秀樹
TEL : 03-3665-3372

以上